



ランドセルに希望を込めて

庄内町長 富樫透

例年は各小学校で行っていたランドセルの贈呈式でしたが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、それぞれの幼稚園で来年度小学校入学予定のお子さんに、ランドセルの贈呈を行ってきました。合併以前は近隣の自治体でも行っていました。現在では県内で白鷹町と本町のみの取り組みとなり、旧町での取り組みを加えると、今年で48年目になっています。今後とも庄内町の教育施策の大きな特長のひとつとして継続してまいります。

昨年より黒、赤、青、茶(キャメル)の4色から好きな色を選べるようになりカラフルになりました。今年の1番人気は黒、赤を抑えなんと青色のランドセルでした。時代の流れで選択肢が増えることは非常に良いことだと思います。また、色の選択に限らず外部からの無意識の思い込みで、制限・誘導してしまうことは、子どもたちのすこやかな成長のためにはあってはならないことと考えます。

まっすぐで、元気に、にこやかな笑顔で「ありがとうございます」とお礼を言う子どもたちにパワーをもらいながら、彼ら彼女らのこれからの100年に思いをさせ、町としてより多くの体験やチャレンジができるように、情報と機会の提供を続けること。そして、数多くの人々との出会いや学びを通して、庄内人として健康で豊かに育ってほしいと願うばかりです。

コロナ対策で制限されている今だからこそ、本筋を見極めしっかりと準備し、未来予想図の整備を進めていきます。今年は例年以上の豪雪の年ではありましたが、春の足音はランドセルと共にしっかりと確実に近づいています。